

# 高知市中心市街地の 「気になるところ」調査の分析

1090470 戸田舞

高知工科大学工学部社会システム工学科

高知工科大学の学部3年生(2009年2月現在)の男女を対象に、高知市中心市街地の「気になるところ」調査を実施した。調査により得られたデータをもとに、若い世代は、現在の高知市中心市街地をどう見ているのかについて考察した。結果は、若い世代は、高知市中心市街地に対して、清潔で、統一感のある街並みを期待していることが分かった。また、高知の観光名所である「はりまや橋」は、観光地としては物足らず、アピール不足でもったいないと思われることが分かった。

**Key Words : 高知市中心市街地、若い世代、気になるところ、課題抽出**

## 1. 研究の目的等

### 1.1 研究の背景

高知市中心市街地では、近年、西部百貨店やダイエーショッパーズ等、大型商業施設の撤退が相次ぎ、また、「シャッター街」と呼ばれるほど、空き店舗数が増加している。それに伴い、高知市中心市街地の歩行者数は、年々、減少傾向にある。なかでも特に、若い人たちの来街(客)が少なくなってきたと言われている。

そこで私は、若い人たちが、現在の高知市中心市街地をどのように見ているのかを知る必要があると考えた。

### 1.2 研究の目的

本研究では、若い人たちによる「気になるところ」調査を通じて、若い人たちが、現在の高知市中心市街地をどのように見ているのかを知ることを目的とする。

具体的には、以下の2点を調べる。

1) 若い人たちには、現在の高知市中心市街地のどのようなところを改善する必要があると思われるのか

2) また、若い人たちは、高知市中心市街地のどのようなところが良い、あるいは、おもしろいと見ているか

以上の2点を通して、若い人たちにとっての魅力的な中心市街地、あるいは、魅力的な商店街とはどのようなものかを考察する。

### 1.3 「気になるところ」調査の方法

「気になるところ」調査の方法は、以下の通りである。

### 1) 調査日時等

「気になるところ」調査は、2008年4月下旬の1週間内に実施する。期間内であれば、調査日時は調査者の任意とする。また、調査時間帯や調査に要する時間も、調査者の任意とする。

また、調査者は、高知工科大学社会システム工学科の学部3年生の男女とする。調査者には高知県出身の学生と県外出身の学生の両方を含む。

### 2) 調査対象範囲

「気になるところ」調査の対象範囲は、図1の通りである。

図1 「気になるところ」調査対象範囲



### 3) 「気になるところ」を見る視点(調査項目)

「気になるところ」の基準は、《おもしろい》、《きれい》、《良い》、《よく考えられている》等、逆に、《悪い》、《汚い》、《もったいない》、《いらぬ or 合わない》等、高知市中心市街地をタウンウォッチングするなかで、何らかの意見・感想をもったところである。

また「気になるところ」調査は、主に、『通り(街並み、広がり、電線、色、等)』、『個店(デザ

イン、センス、看板、等)』、『業種(物販、娯楽、風俗、等)』、『環境(ゴミ、緑、等)』の4項目に分類して行なう。

本調査における「気になるところ」は、景観のみに限定しない。

#### 4) 調査内容のまとめ方

「気になるところ」調査を行なうところを、調査対象地区の範囲内で決め(Googleマップを使用)、その範囲をまち歩きして、「気になるところ」をチェックする。チェックした「気になるところ」を、デジカメ、あるいは、携帯のカメラで撮影する。

写真には、撮影順に番号をつけ、それぞれにコメントを書く。コメントには、どこがどう「気になった」のかを記入する。また、調査日時、「気になるところ」調査全体の感想も記入する。

##### (1) Google マップ上での表現

撮影した写真に番号を付け、地図上に写真番号を挿入する。

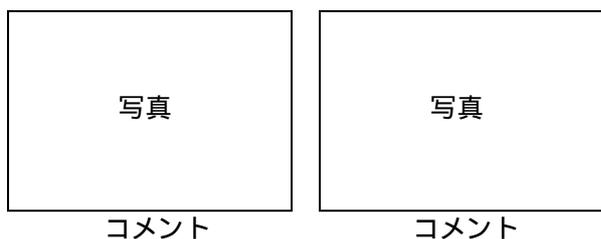


<http://maps.google.co.jp/>

##### (2) 「気になるところ」まとめ方の例

「気になるところ」のまとめ方は、以下に示す通りである。図のように、撮影した写真それぞれに番号をつけ、コメントを記入する。

図2 「気になるところ」のまとめ方



## 2. 調査結果のまとめ(考察)

### 2.1 「気になるところ」の数等

「気になるところ」調査結果の概要は、以下の通りである。

表1 調査者の男女別構成比

	男	女	合計
調査者数	34	11	45

構成比(%)	75.6	24.4	100.0
--------	------	------	-------

表2 調査者の出身別構成比

	県内出身	県外出身	合計
調査者数	22	23	45
構成比(%)	48.9	51.1	100.0

表3 「気になるところ」の数等

	総数	平均
写真(枚)	582	12.9
コメント(個)	*901	20.0

\*写真数とコメント数が一致しないのは、写真1枚に対して複数のコメントがつけられていたり、逆に、複数の写真に対して、コメントが一つしかなかったりしたためである。

表4 「良い」「悪い」の分類から見た評価

	良い	悪い	その他	合計
コメント数(個)	289	414	198	901
構成比(%)	32.1	45.9	22.0	100.0

## 3. 若者から見た「気になるところ」

### 3.1 乱立した看板と、溢れかえるゴミが気になる

高知市中心市街地では、看板が乱立しているビルがあったり、ゴミが溢れかえっている通りがある。

調査者は、このような場所が高知市中心市街地では数多く見られることを取り上げ、「高知の街は汚いところがある」と評価していた。

写真1 パームビル



写真2 ゴミだらけの通り



### 3.2 治安の悪さが気になる

若い人たちは、高知市中心市街地の治安の悪さを気にしていた。市街地では、通りの街灯や自動販売機、公園等への落書きが非常に目立っている。市街地での落書きは、景観上問題があるだけでなく、通りの雰囲気全体を悪くしてしまう。なかには、その独特な字体や個性的な絵に対して、「個人的にこういったものは嫌いではない」とするコメントもあったものの、やはり、「書く場所に問題がある」と認識していた。

また、周囲を建物に囲まれた昼間でも薄暗い路地が点在しており、そうした路地は人通りも少ないため、「何かあったときに、周りの人が気付かない」「昼間でも、何となく通りたくない」とコメントしている調査者もいた。

また、高知市中心市街地には風俗店が多く、なかには、大通りに面しているものもあり、様々な風俗店が固まって営業している通りもある。

調査者は、中心市街地にそういった店が集中していることそのものが、あまり良いことではないと感じていた。

また、公衆トイレに関しては、「暗くて汚く、洗面台の鏡が割れたままになっていたりして怖い」という内容のコメントがあった。なかでも、調査者が最も気にしていたのは、帯屋町公園のトイレと中央公園のトイレである。調査者からは、「中心市街地のトイレがこのような状態ではいけない」とするコメントが、いくつか挙がっていた。

写真3-4 帯屋町公園周辺にある落書き



写真5 高知市中心市街地にある飲み屋街



### 3.3 はりまや橋は観光名所として物足りない

若い人たちは、はりまや橋は観光名所として物足りないと感じていることが分かった。

まず、高知の観光名所として大々的に取り上げられている割に、なぜあの程度の規模しかないのかを

疑問に思っている調査者が多くいた。実際に、訪れていた観光客が、「小さい」「分かりにくい」「車を止めづらい」と話しているのを偶然耳にした調査者もいる。また、「オモチャと言っても過言ではない」とコメントしている調査者もいた。

また、調査者は、はりまや橋が高知の観光名所であることそのものを疑問に思っているようだった。県外出身のある調査者は、「高知県がなぜ、はりまや橋を観光スポットとして推しているのか分からない」とコメントしていた。

はりまや橋は、調査者のコメントを見る限り、観光名所とするには非常に厳しい状況にあると感じた。

写真6 若者から酷評を受けたはりまや橋



### 3.4 統一感のあるおびさんロードが気になる

反対に、若い人たちから高い評価を受けたのは、おびさんロードだった。数多くの調査者が、「おびさんロードは、きれいで気持ちの良い通りだ」と評価している。

調査者は、牛の車両進入禁止の道路標識から通り一帯の雰囲気にまで注目していた。おびさんロードと商店街の間には通り抜け出来るところが何箇所が存在し、それを良いと評価している調査者もいた。

また、おびさんロードの路面に注目している調査者もいた。コメントの内容には、「円を描くようなデザインがきれい」「自転車では走行しにくくしているところに工夫を感じる」等があった。また、道路標示も塗料ではなく石を埋め込んでつくられており、これに関しても「こだわりを感じる」と評価している調査者がいた。

しかし、中央公園に近づくにつれて、路上駐輪や、空き店舗が目立つようになることを気にしている調査者もいた。確かに、おびさんロードでは中央公園に近づくほど路上駐輪が目立ち、空き店舗が連続して存在しているところがある。そういった点が、調査者である若い世代には、おびさんロードの悪いところとして指摘されていた。

特に、第13ホームラン前の路上駐輪の乱雑さを指摘している調査者が多くいた。ある調査者は、その付近に見回りの人がいることに注目し、「それだけ駐輪マナーが良くないということではないか」と指摘していた。

写真7 若者から高い評価を受けたおびさんロード



写真8 路上駐輪や空き店舗が見られる中央公園付近



写真9 ゆっくりカー



写真10 ちょい置き自転車



写真11 牛の車両進入禁止の道路標識



### 3.5 通りにある小物が気になる

若い人たちは、ストリートファニチャー等の小物に視点が集まる傾向にあることが分かった。小物とは、例えば、街灯や花壇、ベンチ等である。

若い人たちは、大橋通り商店街にある「ゆっくりカー」や「ちょい置き自転車」に対して、おもしろいと評価している。また、ある調査者は、それら2つをまとめて、「大橋通り商店街では、利用者のことを考えた工夫が沢山されている」と評価している。

また、おびさんロードにある牛の車両進入禁止の道路標識も、若い人たちの注目を集めていた。これに関しては、「おしゃれな通りに合っている」「かわいい」「おもしろい」といったコメントから、「一瞬、何の看板なのか分からなかった」「なぜ牛なのかが分からない」といったコメントまで、評価が二分していた。

また、現在、ダイエー跡地は取り壊し作業が完了し、商店街に面した位置に広大な更地が出現しているが、その周囲を囲む防音壁には、ポスターや広告が飾られ、通りに沿って花が飾られている。調査者である若い人たちはその点に注目し、「ダイエー跡地の殺風景な感じが和らいでいる」「通りの寂しい感じが多少ましになっている」と評価していた。

しかし、逆に、「何かもっと良い方法があるのではないか」「殺風景さが余計に際立つのではないかと」するコメントも挙げられていた。

また、商店街のアーケード内に所々配置されたベンチに注目している調査者もいた。このベンチに関しては、「利用者のことを考えていて良い」「買い物中、歩き疲れたときに一休み出来るのが良い」といった良い評価から、「邪魔である」「数も少ないし、改めて見ると必要のないのではと思う」といった悪い評価まで、様々だった。

### 4 . まとめ - 本研究を通じて分かったこと

高知市中心市街地の悪いところとしては、1)汚いところがある、2)治安の悪さが気になる、3)はりまや橋は観光名所として不十分、といったことが挙げられた。

反対に、良いところとしては、通り一帯に統一感のあるおびさんロードが挙げられた。

しかし、全体的に見て良いと評価されていたおびさんロードでも、路上駐輪や空き店舗、街灯への落書き等が、悪いところとして指摘されていた。調査者は、それらに対して一様に、「通りの雰囲気壊している」とコメントしている。

このことから分かるように、若い人たちは、高知市中心市街地に対して、清潔で、統一感のある街並みを期待していることが、本研究を通じて見えてきた。

#### 参考文献

- 1) 高知市中心市街地「気になるところ」調査報告書(2008年5月12日)
- 2) 『Googleマップ - はりまや町一丁目 - 検索』  
<http://maps.google.co.jp/> (2008年12月取得)